



【教育目標】 小樽の未来をつくる北陵生の育成
【重点】 「15の春をみんなで考えよう」 ～小中一貫教育の継承と進化～

1. 第2回学校運営協議会の開催について

7月13日(月)に北陵中学校図書室で第2回学校運営協議会が開催されました。冒頭遠藤会長からは、「学校・地域・保護者がコミュニティ・スクール（CS）の場を通じて熟議を重ねることが大切である」という、CSの持つ大きな意義と重要性について改めてお話がありました。また、校長からは今年度も生徒たちが比較的落ち着いた環境の中で、学校生活や学習に集中して取り組んでいる現状が報告され、日頃から生徒たちを温かく見守り、支えてくださる保護者・地域の皆様へ感謝の言葉が伝えられました。

2. 委員の皆様からのご質問・ご意見について

協議の中では、委員の皆様から学校や生徒たちの現状について貴重なご意見を頂きました。以下に紹介いたします。

①SNSやスマートフォンの利用について

⇒現代社会においてスマートフォンは必要不可欠ですが、ルールやマナーを学ぶことはとても重要である。思春期特有の「自己承認欲求を満たしたい」という気持ちから、SNS等を利用する場面もあると思うが、一度拡散された情報の恐ろしさもしっかり教えなければならない。今後も情報モラル教室等を活用し、学校と保護者が一体となって正しい使用方法を伝えていってほしい。

②地域から見た学校の様子について

⇒登下校中に挨拶をしてくれる生徒が多くなった。また、1年生と思われる生徒が困っている方に「荷物を持ちましょうか」と声をかけていたという嬉しい話を聞いた。こうした思いやりのある言動は、地域としても本当に喜ばしいことなので、このような優しい心を持った生徒を育てていってほしい。

③災害等への備えについて

⇒地震などの災害がいつ起きるかはわからない。日頃からの防災教室や防犯教室の実施を通して、「災害は常に起こりうるもの」という意識を持って安全に行動できる生徒を育ててほしい。

